

自己評価表	評価項目 (評価値 適切:4 ～不適切:1)	評価	現状	改善方策
(1) 教育理念・目標	1 理念・目的・育成人材像は定められているか(専門分野の特性が明確になっているか)	3.9	【育成人材像】 信頼にこたえる医療人 行動力あふれる医療人 学習を常に心がける医療人	・生徒に周知されていないので授業等で周知すべきである。 ・教育目標のパネルを掲示
	2 学校における職業教育の特色は何か	3.9	・柔道整復師としての職業を行うための教育	
	3 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3.6	・高齢化社会に適応する人材を育成。	・スポーツトレーナー等の育成
	4 理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3.6	・ホームページに掲載している。 ・育成人材像をクラスに掲示している。	・学生便覧にも記載する。
	5 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3.8	・柔道整復師としての業界のニーズには沿っている。	・授業するにあたって、講師の先生方にも把握してもらうことが重要である。
(2) 学校運営	1 目的等に沿った運営方針が策定されているか	2.6	・運営方針の話を聞いたことがない。 ・策定されているが職員全体に周知されていない。	・年に1回理事長・校長から話をいただきたい。 ・職員会議等で説明
	2 事業計画に沿った運営方針が策定されているか	2.8	・事業計画の話を聞いたことがない。 ・策定されているが職員全体に周知されていない。	・年に1回理事長・校長から話をいただきたい。 ・職員会議等で説明
	3 運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	2.6	・業務分掌規定はある。 ・職員が手薄なためか有効に機能していない。 ・役割分担を決めて守らなくてもペナルティがない。 ・役割分担が曖昧になっている。	・担当を決めたら各自きちんと守ってもらう。 ・正確に分担を行うよう、会議等を増やす。
	4 人事、給与に関する制度は整備されているか	3.6	・就業規則により規定されている。	
	5 教務・財務等の組織整備など意識決定システムは整備されているか	2.6	・教育材料、備品購入、修繕費等は常に検討している。	
	6 業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3.0	・喫煙所の場所を変え、煙がご近所にもれないようにしている。 ・新型コロナウイルス感染症対策防止のためオンライン授業を行うこととなり、必要機材を購入した。	
	7 教育活動に関する情報公開が適切になされているか	3.8	・2019年度よりホームページにて情報公開中	
	8 情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3.0	・コピー等、紙の使用が多い。 ・各自がやりたいことをやりたいように行っていてよくわからない。 ・moodleやzoomなどを使い、臨機応変に対応している。	・eラーニングを推進させ、ペーパーレス化を図る。 ・全員が共通の認識を持てるようにする。
(3) 教育活動	1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	3.3	・優秀な専門教師を要請する方針である。	
	2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。	3.2	・新カリキュラムへの移行期でありまた、国試出題基準も今後改定が予定されていることから今現在努力はしているが明確にするのは難しい。	・チャーター制を取り入れる。 ・今年度で新カリキュラムへの移行が完了する。

自己評価表	評価項目 (評価値 適切:4 ～不適切:1)	評価	現状	改善方策
	3 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか。	3.7	・実技の授業にて行われている。 ・授業時間と臨床実習時間等の確保がなされている。 ・シラバスにより実施されている。	
	4 関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	3.0	・臨床実習として介護施設と連携している。	・整形外科や本校教員以外の接骨院を臨床施設にくわえる。
	5 関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	3.6	・臨床実習の実施 ・昨年度より実施されている。	
	6 授業評価の実施・評価体制はあるか	3.3	・授業アンケートを実施しているが、その後の ・講師会の実施	・アンケートに対する対策をきちんと考える。 ・国試や模試の正答率を各教科ごとに積極的に開示する。 ・学校管理者による授業観察や教員間の授業研究の実施
	7 職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	2.4	・現在は取り入れていない。	・卒業生から意見を頂いたらどうか。 ・業界における最新情報や外部講師による講習の実施
	8 成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	3.6	・成績評価基準があるが未確定の部分も多い。 ・毎年基準が曖昧である。	・はっきりと判定ができるような単位とは別に各学年用評価テストを行ってはどうか。 ・模擬試験の位置づけをもっと明確にする。 ・業界における最新情報や部外講師による講習の実施。
	9 資格取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	3.5	・国家試験対策を入念に行っている。 ・外部業者模擬試験 ・長期休暇を利用した講習 ・3年次までに基礎教育を履修している。 時間的な余裕を持ち3年次国試対策を強化している。	
	10 人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	3.4	・柔道整復専科教員を配置している。	・8時間勤務の教員の数を増やしてほしい。
	11 関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3.4	・群馬大学医学部など ・例年苦心している。	
	12 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3.6	・群馬専修学校各種学校連合会主催の研修等に参加 ・全国柔道整復学校協会主催の教員研修会、各委員会等に参加し、教職員伝達している。	・参加後の報告とその後の実践方法の話をしてほしい。
	13 職員の能力開発のための研修等が行われているか	2.6	・例年教員研修会、接骨医学会への参加していたが、昨年度は実績なし。 ・群馬県専修学校各種学校連合会の研修会に参加(シラバスの記載の仕方) ・現在は行われていない。自己研鑽による。	・勉強会や意見交換会など考えてほしい。 ・教員相互で授業研究・研究協議を実施する。 ・教員研修会、接骨医学会等の研修

自己評価表	評価項目 (評価値 適切:4 ～不適切:1)	評価	現状	改善方策
(4) 学修成果	1 就職率の向上が図られているか	3.8	・毎年、就職希望者全員の就職者を輩出している。 ・個別面談・進路希望調査を実施している。 ・今年はコロナの影響もあり内定取り消し等が発生した。	職場見学会(希望者)や同窓生による体験発表などの開催
	2 資格取得率の向上が図られているか	3.5	・長期休業中における集中講習の実施(夏期、冬期、国試前) ・校内統一模試、補講の充実、国試対策	
	3 退学率の低減が図られているか	3.3	・カウンセリング等により云々 ・個別面談の実施と成績不良者への学習指導	・悩み事、困りごと等の相談やアンケートの実施
	4 卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3.1	・卒業生で開業している接骨院・整骨院を訪問している。また学生募集にも協力してもらっている。 ・同窓生の情報によるところが多い。卒業時に就職先を申告し、変化があれば連絡するよう指導	
	5 卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。	3.0	・業界関係者による説明会の実施している。 ・同窓会主催の研究発表会に参加している。 ・ただし新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、現在休止中	
(5) 学生支援	1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか	3.6	・無料職業紹介所として職員を配置している。 ・情報資料室に掲示している。	・eラーニングで閲覧できるようにする
	2 学生相談に関する体制は整備されているか	3.1	・学生課に職員を配置している。 ・担当が曖昧で誰に伝えていいかわからない。	・担当者を複数にしてきちんと報告、連絡、相談をして対応する。
	3 学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	3.8	・学生支援機構の奨学金に対応する職員を配置している。	
	4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3.8	・健康診断の実施を行っている。	
	5 課外活動に対する支援体制は整備されているか	2.4	・今後の課題	・担当者を決める
	6 学生の生活環境への支援は行われているか	2.5	・今後の課題	
	7 保護者と適切に連携しているか	3.4	・学生課により実施されている。 ・各学期(前・後期)ごとに保護者に学業成績を送付している。	
	8 卒業生への支援体制はあるか	3.6	・国家試験合格のための支援制度 ・就職支援制度	
	9 社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3.3		
	10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	3.0	中学校・高等学校柔錬成大会での救護活動に協力している。	

自己評価表	評価項目 (評価値 適切:4 ～不適切:1)	評価	現状	改善方策
(6) 教育環境	1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3.7	・柔道整復養成施設ガイドラインに基づき整備している。	・2019年度には超音波画像診断装置を導入し新カリキュラムに対応できるようにした。 ・雨漏りを直す。 ・コロナ対策として機器の充実を図り、オンライン授業に対応している。
	2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	3.2	・校内に附属接骨院を開設している。	
	3 防災に対する体制は整備されているか	3.2	・防災ガイドラインを策定してる。	・防災避難訓練を年一回行う。 ・避難手順書を作成する。
(7) 学生の受入れ募集	1 学生募集活動は、適正に行われているか	3.6	・広報職員を配置し適正に行われている。	
	2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3.6	・学校案内、ホームページにより公開している。	
	3 学納金は妥当なものとなっているか	3.8	・同種の専門学校と比較して妥当と思われる。	
(8) 財務	1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	1.8	・入学生の減少により、不安定となっている。	・入学生を増やす。 ・お金かけるところと節約するところを話し合っきちんと実施する。 ・PRをもっとする。
	2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	2.8		
	3 財務について会計監査が適正に行われているか	3.6	・適正に行われている。	
	4 財務情報公開の体制整備はできているか	3.6	・ホームページにて公開している。	
(9) 法令等の遵守	1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	3.5	・法令等に遵守して適正に運営されている。	
	2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3.7	・個人情報是一元管理としている。	・常に取扱状況を把握しながら、保護を徹底していく。
	3 自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	3.2		
	4 自己評価結果を公開しているか	3.3	・2020年度より公開予定。	
(10) 社会貢献・地域貢献	1 学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3.7	・各種検定等の実施施設として登録している。	柔道場の地域への開放
	2 生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	2.2	・中学・高校の柔道大会等での救護活動を実施している(ボランティア)	
	3 地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	2.2	・今後の課題	
(11) 国際交流(必要に応じて)	1 留学生の受入れ・派遣について戦略を持って国際交流を行っているか	1.5	・現状として日本語教育の実施が困難なため、現在は特に考えていない。今後の課題とする。	
	2 受入れ・派遣、在席管理等において適切な手続き等がとられているか	1.5		
	3 学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	1.5	・今後の課題	
	4 学内で適切な体制が整備されているか	2.0	・今後の課題	